

明日にむかって

2月13日の地震で被災された皆様にご心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。

発行 社会福祉法人陽光会 編集「明日にむかって」編集委員会 発行日 2021年3月5日

住所 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03-3956-1068(陽光保育園)

社会福祉法人陽光会 HP <http://youkou-kai.com>

93号

「コロナ」という言葉を何度口にしたことでしょうか。コロナを考えずに生活できる日はまだ先な気がします。そんななか、孤独とどう付き合っていくかを考えることが増えました。今まで当たり前に群れていたのに、それができないことが多くなり、大人でさえ寂しさを感じるが増えました。ですが反面、気づかされたこともあります。自分の好きなこと、自分の世界があるか？それを持てていると、孤独を感じる事が少し減るのではないのでしょうか。乳児期の「いやいや」と主張することや、幼児期の「私はこれをやりたい」と言えることで少しずつ自分を知っていく子どもたち。それが将来、自分の好きなことを見つける力につながっていると思うと、自分の世界を十分に見つけ充実できる環境を園でつくっていきたく思う今日このごろです。孤独ではなく「自分の時間を充実させる時」と思うと、コロナ禍も大事な時間になっていくのかもしれない。(A・S)

続 子どもの世界

～北町保育園～

2 歳児 — ある朝の出来事

朝、ママと離れられなくて泣いてしまう子どもたち。「ママがいいよ～」と泣いているAくんに、「わかるよ。先生もママがいいなあ～」と試みてみたら、「えっ、先生にもママがいるの？」とAくん。大人にもママがいることが不思議そうでした。

1 歳児 — 興味津々

三輪車のキーキー鳴る音を聞いて、「なんかうたってね」砂場でつくったものを見て、「おいしそうだね。食べたくなっちゃう」

3 歳児 — 将来の夢

将来の夢は「ラプンツェル」(ディズニー映画の主人公)と言っていたBちゃん。でもある日、「やっぱり警察官が看護師になる」「だって、赤ちゃんが産めないから……」どうやら、テレビドラマで見た看護師さんは妊娠・出産していたけど、ラプンツェルは赤ちゃんがいらないから、という理由。とても一生懸命考えたBちゃんでした。



例年は12月に保育園中のみんなで楽しんでいるお店屋さんごっこですが、コロナ禍のなかで今年度は幼児クラス(3・4・5歳児)で取り組むことにしました。お店屋さんには5歳児、3・4歳児はお客さんになりました。

大成功！ お店屋さんごっこ

●陽光保育園●

例年は12月に保育園中のみんなで楽しんでいるお店屋さんごっこですが、コロナ禍のなかで今年度は幼児クラス(3・4・5歳児)で取り組むことにしました。お店屋さんには5歳児、3・4歳児はお客さんになりました。

取り組み自体は縮小したものにりましたが、子どもたちがみんなでアイデアを出しあい、それを形にしていけることを担任とともに楽しんでる姿を見て、成長を感じたのと同じに、「がんばろうよ、私たち成長しているよ」と子どもたちが体現してくれているように、励まされる思いでした。保育士たちはみんな、コロナ禍のなかで今まで経験したことのない苦勞をしながらの保育をしていますが、また次の成長を目指して日々過ごしています。(陽光保育園園長 齋藤彩子)

獅子舞で新年を祝う

●北町保育園●

毎年新年明けには、一年の始まりを地域のみなさんとともに祝うことを目的に、多田純也さん(舞台実演家。裏面参照)をお呼びして「新年お祝い会」を開催しています。地域交流の方や近隣の介護施設の方などを招待していましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のために園内だけの開催となりました。また、ホールで全クラスが集まるのを避け、乳児クラスは園庭で、幼児クラスはホールで行いました。



▲プール前にシートを敷き、獅子登場！
▼獅子に頭をガブリ……怖くようううれいよう……

園庭で行うのは初めてのため、どうなるか楽しみでもあり不安でもありました。プールの前で、多田さんが呼び出し太鼓を鳴らすと、子どもたちが「なんだ？ なんだ？」と集まってきました。皆が集まると獅子舞の始まりです。そばにいた大人にしがみつき、園庭のフェンスまで下がって見る子もいました。怖く見続ける姿がなんとも愛おしかったです。怖いながらも獅子に頭を噛んでもらい、福が来ること間違いありません。

園庭で行うのは初めてのため、どうなるか楽しみでもあり不安でもありました。プールの前で、多田さんが呼び出し太鼓を鳴らすと、子どもたちが「なんだ？ なんだ？」と集まってきました。皆が集まると獅子舞の始まりです。そばにいた大人にしがみつき、園庭のフェンスまで下がって見る子もいました。怖く見続ける姿がなんとも愛おしかったです。怖いながらも獅子に頭を噛んでもらい、福が来ること間違いありません。



▲会場を飾ったバルーンアート。大作です

▲アクセサリー屋さんには受付を設けました

このイベントは例年「子どもたちの子どもたち」による子どもたちのための趣向として、実行委員会形式で催されます。企画から準備、当日の運営まで、そのすべてを基本的には子どもたち自身が担うのです。大人は黒子役に徹し、サポートに全力を注ぎます。そして、

「工作・あそびフェスティバル」は板十小あいキッズ最大のイベントです。今年はコロナの影響で一時は催行できずかすら危ぶまれたなか、無事に、そして大成功に終わることができました。そんな11月25日についてお伝えします。

●板十小あいキッズ●

——工作・あそびフェスティバル

今年のメンバーは皆、とまかく熱意にあふれていました。各お店の子どもたちがそれぞれ熱心に、そして積極的に制作と練習を重ねて準備し、迎えた本番当日。
お店は、バルーンアート屋、射的屋、アクセサリー屋。これらは毎年必ず登場する人気店です。会場である体育館に三つのお店が軒を連ね、その入り口は藤の花のガーランドで、内装は色とりどりのバルーンアートで装飾されました。こうしてお祭りムード満点の体育館が一気に熱気に包まれました。やさしく丁寧にかける店員さん。お客さんの年下の子どもたちと、一所懸命な店員のお兄さん・お姉さんの姿がどれほど楽しげに、かつまふしげに見えていたことでしょうか。
いつもやんちゃでふざけがちな、ある男の子。この日は、とてもはきはきした口調で「きちんと消毒してね」と伝える姿が格好よく、とても素敵でした。
職員にも子どもたちにとっても素晴らしい一日で、コロナのなかでもこんな素敵なことが出来る。そう思えたことが何よりお伝えしたいニュースです。
(板十小あいキッズ指導員 宮澤邦人)

「つぎ」の開いている口を目にかけてボールを投げ入れる遊びです。年齢に合わせて距離を変えていました。
お買い物は、紙製のモンブランやラーメン、紙コップのけん玉が人気商品です。品切れになるものもあって、何を買おうか、しばらく迷っている子も。時間や空間が保障され、どの子も楽しむことができたお店屋さんごっこになりました。
困難な状況が続きますが、これからも、できるかぎりの工夫をしながら子どもたちと楽しく過ごしていきたいです。
(桜台第二保育園園長 柄澤善寛)

親子でいっしょにあそびましょう

●陽光保育園●

2021年度も「砂遊び」や「リズム遊び」などを中心に公園ではできない遊びを計画しています。親子で気軽に遊びにきてください。無料です。

- ただし、新型コロナウイルス感染状況により、延期や中止、受け入れ人数を制限することもあります。
 - 参加ご希望の方は、実施予定日の3日前までにお電話ください。
- 場所 陽光保育園(板橋区大谷口上町23-1) ☎3956-1068
時間 午前9時30分～11時(赤ちゃんは10時30分まで)
対象 0歳児～就学前のお子さんと保護者

- *動きやすい服装で、タオルと着替えをご持参ください。
- *受け入れ時、検温と手指消毒を実施しています。発熱や咳などの風邪症状がある方は参加をご遠慮ください。
- *天候によっても内容を変更することがあります。
- *0歳のお子さんは、室内にて、赤ちゃん体操・あやし遊びなどでゆったり過ごします。

2021年度◆年間予定

4月20日(火)	5月18日(火)	6月15日(火)
7月20日(火)	8月17日(火)	9月14日(火)
10月19日(火)	11月16日(火)	12月21日(火)
1月18日(火)	2月15日(火)	3月15日(火)

【予定】9月:健康相談(看護師) 11月:「食」の相談(栄養士)

親子で遊ぼう！ただじゅんのあそびっこ

北町保育園の今年度の共育講座は11月7日、「親子で遊ぼう！ただじゅんのあそびっこ」と題し、ただじゅんこと多田純也さん（舞台実演家・表現活動インストラクター）をおよびして開催しました。多田さんは毎年1月の「新年のお祝い会」で獅子舞を披露していただいているので子どもたちとは顔なじみです。感染症対策のため、場所は園庭で、対象は幼児（3〜5歳児）の親子のみになりました。

まずは新聞紙でおそろいの帽子を作ってからスタートしました。これだけでなんだか親近感がわいてきて楽しい！

園庭のあちこちにカブラ（木の積木）を100本隠してみんなで宝探しをしたり、忍者になって手裏剣やマキビシ、弓矢を瞬時によける修行をして盛り上がり、指名された人のポーズを全員で真似をしたときには自然と笑顔であふれていました。

使い捨てのプラスチックコップを二つにつなげたものに輪ゴムを巻き付けてロケット



ただじゅんの太鼓の音でさあはじまり、はじまり！



ブラコップで作ったロケットを飛ばす



マネっこゲーム。「木になーれ」の合図でみんな木のポーズ

のように飛ばす遊びは、コップをつかむまでが難しく、大人も大苦戦（笑）。次から次へと発展していく遊びに、子どもも大人も夢中になりました。

はじめは緊張して不安な表情の子が多かったのですが、帰るころには、ただじゅんマジック！にかかったかのように一人ひとりの表情が明るく輝いていて、とってもうれしくなりました。画面越しのゲームが主流の今の世の中、身近な素材でこんなにも楽しく遊べるのかと、改めて実感できた日にもなりました。なかなか外に出られず悶々とする日が続いていますが、おうちでもすぐできるものばかりだったので、これを機会に親子での遊びの幅が広がればいいなと思いました。

後日、保護者の方にアンケートをお願いしたところ、たくさん感想をいただきました。また、職員からも大きな反響がありました。コロナで外出しづらい状況の中、ごす時間が長くなっていく中、身近なものを使って親子で遊ぶよい機会になったと思います。「ただじゅんさんに会ってみたいかった」という保護者もたくさんいて、ただじゅんの魅力を一緒に共有できたのもよかったです！



紙皿で作ったカザグルマ（?!）、指にはめて走るとクルクルまわって、とっても楽しい！



◆こんなときご利用ください
 ・保護者の就労・求職・通院・職業訓練・通学・看護・介護など。また保護者の傷病・被災・事故・出産・冠婚葬祭などの緊急時。
 ・保護者の子育て不安・リフレックシユなど。
 ・育児相談、健康診断等で、お子さんが保育園での保育が必要と認められたとき。

◆利用日・利用時間など
 ・月曜日〜金曜日の9時〜17時（土・日・祝日・年末年始休）
 ・1歳以上で、離乳の完了しているお子さんから受け入れています。板橋区発行「すくすくカード」のご利用もできます。
 ・一日1時間〜8時間。ご希望の時間帯で利用できます。
 ◆お申し込み・お問合せ
 ・直接、陽光保育園へ。
 ・TEL 0426-11068、受付時間10時〜17時
 ・緊急時以外は、なるべく利用される10日前までに申し込んでください。
 ・事前に面接をしていただき、利用日・利用時間を予約していただきます（親子でおいでください）。
 ・利用料その他、詳しくは陽光保育園までお問い合わせください。

共育講座アンケートより
 *子どもだけでなく私も心から楽しみました。忍者っこや宝探しなど子どもたちがわくわくする内容で、はじめは恥ずかしさと不安で消極的だった我が子もすぐに夢中になっていました。（保護者）
 *前から気になっていた、ただじゅんさんのイベントに参加できて良かったです。楽しかったのと同時にコミュニケーションや遊び方など、大変参考になりました。（保護者）
 *道具や特別なこともなく楽しく遊べ、笑えることの貴重さを学ばせてもらいました。さっそく夕食時、我が子と「お話つきりゲーム」をしてみました。意外な結末にみんなで大笑いしました。（職員）
 *勝ち負けに関係なくカラダも心も解放され無心になれて楽しい時間でした。こういった体験が子どもにとって大切なことを実感しました。（職員）
 （文字づかいなど、一部手を入れさせていただきました。編集部）

「いないいないばあ」
 文：松谷みよ子
 絵：瀬川康男
 童心社（1967年初版発行）
 20頁 / 21 × 18.6cm
 半世紀にわたり愛され続けてきた赤ちゃん向け絵本。読み進めるたびに、ネコ、クマ、ねずみ、キツネの顔が「ばあ！」と変わるところがおもしろい。大人も赤ちゃんも笑顔になります。その笑顔の繰り返しがこの絵本の魅力です。

「ラチとらいおん」
 文・絵：マレーク・ペロニカ
 訳：徳永康元
 福音館書店（1965年初版発行）
 44頁 / 16 × 23cm
 弱虫で泣いてばかりいたラチが、小さな赤いライオンがそばにいることで少しずつ強くなっていきます。どんな子どもの中にも多かれ少なかれ住んでいる「弱虫な気持ち」に共感しながら、「なりたい自分」に一歩だけ踏み出す勇気をくれる絵本です。

「生きる」
 詩：谷川俊太郎
 絵：岡本よしろう
 福音館書店（2017年初版発行）
 44頁 / 26 × 20cm
 新型コロナウイルスにより私たちの生活が一変した今、当たり前前のごときを尊く大切に感じながら「生きること」の意味をもう一度見つめ直させてくれる絵本です。巻末の谷川さんのコメントも心に染みます。

シリーズ **戦争と私**

ひもじい思いだけが……

加瀬 瑠美子

私は昭和15年に東京・日本橋で生まれました。まもなく板橋に引っ越し、板橋第一小学校に入学したのは昭和21年でした。小さかったので戦争の記憶は少ないのですが、それでも空襲の怖さはよく覚えています。氷川町に空襲があり、借家は丸焼けになりました。空が真っ赤になったのを覚えています。親に「逃げるよ!」と言われて防災頭巾をかぶり、祖母と母、兄と弟（赤ん坊だったので母に負われ）と私で第一小学校に逃げました。みんながバラバラにならないよう、紐で汽車ポッポのようにして逃げました。夜、炊き出しでおにぎりが食べたが、ガリガリで食べられませんでした。私は「白いご飯が食べたい」「白いご飯じゃないといやだ」と泣き叫びました。その後、氷川町8丁目の第一小学校の裏の家に引っ越ししました。学校のすぐ裏で、竹林を横切って学校に通うことができました。戦後、もう一人弟が生まれ、私たちは4人きょうだいになりました。母方の祖父母は本所で八百屋をしていました。3月10日の大空襲のとき、板橋の方へ逃げてきました。死体の中を歩き続けてポロポロになり、お化けのような格好でした。一緒に逃げたおじいちゃんは途中でぐれてしまい、どこかで焼け死んでしまったようです。骨を拾うこともできませんでした。だいぶ後で、東京都が空襲で亡くなった人を調べ始めたとき、兄がおじいちゃんの名前を登録しました。家族として、おじいちゃんへのせめてもの思いでした。戦後は、わずかな配給では食料が足りず、母が兄を連れて千葉の方に買い出しにきました。芋や野菜を買ってきました。父親は軍の研究所で働いていました。仕事の内容について私たちに話さず、わかりませんでした（戦地に行かなかったことをうしろめたく思っていたのかもしれませんが）。右手に傷がありました。戦後、父は社会党から区議会議員に立候補しましたが、次点で落選しました。戦争に対する反省や後悔がそうさせたのかなと思います。父は「共産党の人は立派だ」と言っていたようです。政治に関心があったのです。そういえばロシア民謡を歌っていたこともあり。何が辛かったといえば、いつもお腹がすいてひもじかったのが一番悲しい思い出です。戦後、給食はありましたが、すぐくまずかった！（板橋区在住）※他誌に掲載された手記を、本紙用に加筆したうえで掲載させていただきました。

ごあんない

■陽光保育園
 ■北町保育園
 ■桜台第二保育園
 *コロナ禍のなか、陽光会の4事業所では、外部からお客をおよびする行事は、当面、すべて中止します。卒園式も内部で実施予定です。ご了承ください。

■板十小あいキッズ
 3月5日 あいキッズ入会説明会
 3月17日 二分の二卒業式（内部行事）
 ■陽光会後援会
 *後援会の来年度の行事等は未定です。

二人歩記

お父さんの出番です!!

なぜお父さんの出番です!!なのか……。まるで未だにお父さんが育児や家事においてあまり活躍していないみたいではないか。お父さんの心の声が聞こえる。「自分はそれなりに家事も育児もやっている。妻に負担が偏らないよう配慮しているつもりだが……」。この「それなり」と「つもり」に反感を感じるお母さんはたくさんいらっしゃるようだ。「あなたのそれなりの家事と育児は私に比べたらお話にならない。それで家事、育児をやっているつもりなの。それに配慮して何？あなた配慮してくれてたの？仕事だ、趣味だって自分のやりたいことばかりやって、やれていいわね。私なんか自分の時間なんてほとんど持たないのに」

ある日曜の朝、残業後、仕事から帰ってくと、やってあるはずの洗濯や食器の片付けが何もなされていない。疲れて眠い体に鞭打ってそれらをこなすと、思わず寝ている妻をおこして言った。「なんで寝てるの。寝るのは俺のほうだろう」。このときの私の気持ちを一言でいうなら、「俺ばかり大変な思いをして、妻は楽をしてる」。この「するい」は、幼児期に獲得する観念である。4人の子どもを育てる私は確信している。彼らはこの「するい」を口にするし、「するい」が原因でよくケンカもする。「あ、〇〇のほうがあめちゃん一つ多い!」などなど。この子どもじみた響きのある「するい」は、取りも直さず「公正さ」を求める声に他ならない。社会的動物である人間は、かなり早い段階でこの不公平を憎む観念を獲得し、大人になってもしっかりとこれを保持している。（そつじやありませんか?）

この公正さの実現を阻むものは何か。「やる気はあるんだけど疲れちゃって……」「小さいときはお母さんが一番」「あなたが作った料理のほうが好きのよね……」「お前（あなた）のほう時間が余裕があるんだから仕方ない」「それぞれの家庭にそれぞれのやり方があるのでは」。こうした声の背後にあるのは怠惰か、傲慢か、無関心か、はたまた理性か。いずれにせよ各人に備わったセンサー「するい」が発動したときは、すぐに黙殺を決め込まないほうがいい。子どもたちを見よ。たった一つのあめちゃんのために全力を尽くし、かくも野蠻で美しき関係を築いているではないか。

お母さんの心の声が聞こえる。「それであなた、私にそれ言えるの？逆に、言われたいの、変わるの?」「……そ、そりゃ、もちろん!」(言うは易く行うは難し)。センサー発動。「……じゃあ、君は?」

(桜台第二保育園2歳児・5歳児の父 百瀬真太郎)